

協和中学校区の義務教育学校に関する保護者説明会 要旨

1 開催概要

(1) 日時

令和8年9月13日（日） 午後2時～午後2時40分

令和8年9月16日（水） 午後7時～午後7時45分

(2) 場所

協和コミュニティセンター 総合ホール

(3) 参加人数（人）

学校等	就学前	古里小学校	新治小学校	小栗小学校	計
9月13日（日）	8	0	1	3	12
9月16日（水）	8	1	2	0	11
合 計	16	1	3	3	23

※お子様が複数いる場合は、一番下のお子様の学校等で集計。

2 説明内容

- (1) これまでの検討内容について
- (2) スクールバス運行計画（案）について
- (3) 今後の進め方について

3 質疑応答

(1) 9月13日（水）

参加者： 病欠など当日にバスを利用しなくなったときは、どのように連絡を行うのか。

事務局： 明野五葉学園では、乗降確認システムのQRだれドコの連絡機能からバスに乗車しない登録ができるようになっている。それとは別に学校へも欠席等の連絡をすることになっている。

参加者： 遅刻してバスの出発時間に間に合わなかった子供がいた場合、バスは待つことになるのか。

事務局： 明野五葉学園では、遅刻した子供がいても出発時間には出発することになっている。

参加者： 乗降場所へ防犯カメラの設置などはするのか。

事務局： 今のところ設置の予定はない。明野五葉学園の乗降場所でも設置はしていない。

参加者： 下校時刻が遅れる場合、保護者への連絡はあるのか。

事務局： 明野五葉学園の場合、突発的な事情でバスの出発時間に変更される場合は、保護者への連絡ツール（マチコミ）等で連絡を行っている。

(2) 9月16日（水）

参加者： 保護者負担金の減免は申請が必要とのことだが、保護者からの申請がないと減免されないのか。

事務局： 就学援助については、教育委員会で対象者が把握できるので対象者に申請の案内を送付している。病気・けがによる減免については、申請がないと病気・けがによるものか、遅刻などの自己都合によるものかがわからないため保護者が申請することとしている。保護者へは、利用の手引きなどでその旨を案内している。申請期限は、減免対象となる月の翌月10日まで。それを過ぎると口座振替の処理が間に合わないため。

参加者： 「QRだれドコ」について、明野五葉学園でのトラブルなどがあったか。それに対する改善策はあるのか。

事務局： 運行開始直後は、バス運転手、児童共に慣れておらず、全員分の読み取りができなかったり、操作を間違えてしまったりなどはあったが、現在はそういったトラブルはほとんどなくなっている。

「QRだれドコ」で使用する運転手用タブレットや通信環境のトラブルで、QRコードの読み取りやシステムへの反映ができなくなった場合に備えて、紙の名簿もバスに搭載しており、システムが使えないときは、運転手が必ずその名簿でチェックすることとしている。

参加者： 「QRだれドコ」で一定時間降車の記録がなかった場合に、通知がくるとのことだったが、どれくらいの時間か。

事務局： 明野五葉学園の場合、1時間で設定している。

参加者： 子供の乗降時は、バス運転手は目視しているのか。

事務局： バスの種類によって、乗降口が運転席の後ろになる場合もあるが、タブレットと併せて確認している。

参加者： 乗降場所までは、まとまって行くようになるのか。それは家庭や地域の判断になるのか。明野五葉学園ではどのようにしているのか。

事務局： 明野五葉学園の場合、乗降場所までの集合方法は特に指定していない。まとまって乗降場所に行くか、個人で行くかは、乗降場所ごとに保護者が相談して決めていただいている。基本的に乗降場所は、できるだけ元の通学路に近い場所で、児童が歩いて行ける位置に設置している。

参加者： QRコードを紛失した場合はどうなるのか。

事務局： QRコードの読み取り以外に、運転手のタブレット操作でも乗降が記録できるので、失くしたり、忘れたりした場合は、運転手に声をかけることになっている。利用カードの再発行の手続きもあり、届出から1～2週間程度で再発行している。

参加者： 下小栗集落センターの利用想定地域に整理地が入っているが、小栗コミュニティセンターの方が近い。利用想定地域以外の乗降場所も使えるということでしょうか。

事務局： あくまで想定地域なので、近いところや利用しやすい乗降場所を選択していただいて構わない。

参加者： 明野五葉学園では、バスと保護者送迎で混雑して大変だときいたが、協和の義務教育学校では大丈夫か。

事務局： 明野五葉学園では、バスの乗降場所と保護者送迎用の駐車場を分けているが、周辺道路が混雑することはあるようだ。

現在、義務教育学校の設計を進めているが、保護者送迎場所などは外構の設計の中でよく検討していきたい。